

# か のう ち 持続可能な社会に向けた地

50年後、100年後も豊かな暮らしを送るような持続可能な社会を目指すにはどのようにしたらよいか、考えてみましょう。

## ち いき し げん ち いき 地域の資源を活用した地域づくり

世界中が持続可能な社会となるためには、日本をはじめとする世界各国が、そして、日本の各地域が持続可能な社会となる必要があります。

地方には、豊かな自然やそこから得られる自然のめぐみ、農山漁村の伝統文化や田園風景などの様々な「資源」があります。都市には、人材やお金、都市ならではの文化、都市の景観などの様々な「資源」があります。つまり、その地域のもつすべてのものが資源だと考えられます。

各地域に目を向けてみると、その地域が持つ様々な資源があることがわかります。各地域が持続可能であるためには、人やモノ、お金といった、各地域が持っている様々な資源を、できるだけ地域の外に出さずに、それぞれの地域の中で循環させ、経済・社会活動においてそれらを最大限に活用することが必要です。こうした循環は、地域の経済・社会を元気にし、環境だけでなく、経済・社会の課題の解決に役立つとともに、各地域の自立にもつながると考えられます。



しりょう しずおかけんふじえだし  
資料：静岡県藤枝市

